

情報リテラシ(1) (2002.4.16)

- 授業概要 -

授業の方針

- ・ コンピュータに関する基礎知識は膨大なものとなっている.
- ・ 授業では学ぶべきことの半分以上の項目しか話すことはできない
- ・ 各自の自習, 予習, 復習は必須である.
 - ノートPCがあるので家でしっかりと予習・復習を!
- 単位がとれればそれでよいのではなく、いかに自分のモノになっているかが重要。就職など将来問題が発生するかも.
- ・ 教科書に載っているものは授業でやらなくても試験や演習にでる可能性がある.
- ・ 以上は, 他 の授業に関しても同様である.

講義の進め方

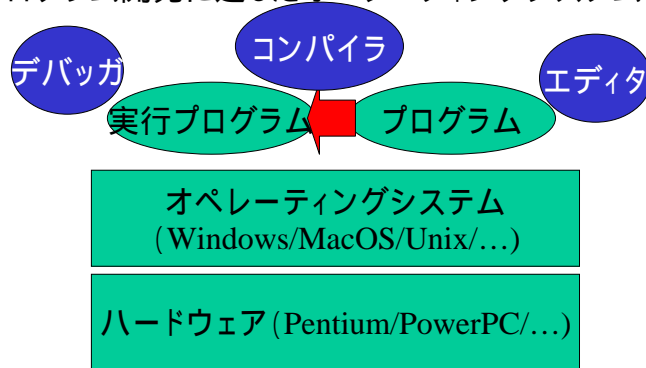
- 講義と実習
 - 各コマの平均半分程度を講義にあて、残りの半分を実習にあてる。
- 実習(講義の一部)
 - 実際に計算機を利用する.基本的な使用法をマスタする.
- 課題
 - 情報リテラシで3~4回
 - 全て提出していなければ評価がFとなる。
- 評価
 - 出席点、課題点、定期試験

情報リテラシとは？

- 基本的なコンピュータの利用法
 - Windows の利用法
 - Unix の利用法
 - コンピュータサイエンスの研究によく用いられているオペレーティングシステム
 - Windows と異なるOS
 - 様々なコンピュータが存在することを知らるために有効
 - 最近のコンピュータ
 - 携帯電話,デジタルテレビ,カーナビ..
 - 様々なコンピュータを有効に利用することの重要性

なぜUnixか？(1)

- プログラム開発に適したオペレーティングシステム



なぜUnixか？(2)

- プログラム開発に適したオペレーティングシステム
 - コンパイラ, デバッガ, ソースコード管理, エディタ
 - 様々なツールがパブリックドメインである.
 - 新しいツールの作成や既存のツールの改造が盛んである
 - コマンドベースのユーザインタフェース
- 計算機プログラミングのために必要.
 - Java プログラムの作成
 - Java プログラムのコンパイル
 - Java プログラムの実行